



山形県木材産業協同組合

〒990-2473 山形市松栄 1-5-41
 TEL.023-666-4800 FAX.023-646-8699
 URL:http://www.mokusankyo.jp
 E-mail:yamawood@mokusankyo.com

目次

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1. 県人事異動内示! | 4. 県原木流通協議会総会開催 |
| 2. 木産協 素材生産部会設立総会 | 5. 県森林整備事業担当者会議 |
| 3. 県再造林推進機構臨時総会 | 6. 県山火事防止連絡協議会 |



1 県人事異動内示! 平成30年度木材関連担当等職氏名一覧

3月19日県職員の定例人事異動が内示され、下記の新体制が決まった。

農林水産部長 駒林雅彦 (前村山総合支庁長)、次長 高橋雅史 (前商工労働部付参事)

- ・ **林業振興課** 【木材担当Tel023-630-2525、2526、2527】
 安達喜代美 森林ノミクス推進監 (兼) 林業振興課長、齋藤潔 森林ノミクス主幹、
 堀米英明 木材産業振興主幹、梅津一寿 森林保全主幹、福井克 副主幹
 菅原隆志 課長補佐 (木材産業振興担当)、山寄優 木材流通対策専門員、
 荒木龍平 木材産業振興主査、荒澤祐樹 技師
- ・ **村山総合支庁** 【木材担当Tel023-621-8283、8284、8191】
 土方孝宮 森林整備課長、渡邊潔 森づくり推進室長、横倉肇 課長補佐 (林政企画担当)
 今田洋一 西山杉ブランド化専門員、鏡美幸 主査
- ・ **置賜総合支庁** 【木材担当Tel0238-26-6063】
 鈴木立男 森林整備課長、大築和彦 森づくり推進室長、
 小関秀章 課長補佐 (林政企画担当)、早乙女明 林政主査、松木利夫 技師
- ・ **最上総合支庁** 【木材担当Tel0233-29-1349、1347、1351】
 石川浩 森林整備課長 (兼) 森づくり推進室長、土屋隆一 林業・木材産業振興室長、
 片桐政和 課長補佐 (林政企画担当) (兼) 室長補佐 (木材流通対策担当)、
 増川栄一 木材流通対策主査
- ・ **庄内総合支庁** 【木材担当Tel0235-66-5526、5527】
 後藤徹 森林整備課長、伊藤信 森づくり推進室長、志藤彰 課長補佐 (林政企画担当)、
 奥山貴典 林産振興主査
- ・ **森林研究研修センター** 【木材担当Tel0237-84-4301】
 古川和史 所長、齋藤正一 研究主幹、
 柴田一 木材・林業経営主幹 (兼) 森林経営指導部長、渡部公一 森林資源利用部長
- ・ **みどり自然課** 【木材担当Tel023-630-2209、2207、2206】
 佐々木紀子 みどり自然課長 (事務職)、鈴木良幸 みどり県民活動推進主幹、
 日沼賢昭 課長補佐 (みどり県民活動推進担当)、伊藤志津 みどり県民活動推進主査
- ・ **建築住宅課** 【木材担当Tel023-630-2642、2657、2637】
 櫻井信 建築住宅課長、井沢佳則 建築行政主幹、外塚恵一 住宅対策主幹

今回は少し控えめな異動のようだ。安達推進監や齋藤主幹、堀米主幹のトップが残留し、昨年の森林ノミクス推進条例制定、林工連携コンソーシアム設立、再造林推進機構設立などに引き続き、森林ノミクス推進最終章に向けての新体制のさらなる活躍に期待したい。また、目玉人事の最上の土屋室長と村総の今田西山杉ブランド化専門員の活躍にも注目したい。

2 木産協 素材生産部会設立!

平成 30 年 3 月 15 日 (木) 新庄市内会場にて山形県木材産業協同組合素材生産部会設立総会が 27 社の参加で開催された。この会は、県内の素材生産関係者の組織化を推進し、生産体制の近代化、生産技術の開発・改良、生産品の品質向上を図ると共に、これらの普及定着のための支援や合法的木材の安定供給を促進し、素材生産事業体の社会・経済的地位の向上及び県民生活の向上に寄与すること等を目的としている。主な事業として、立木の共同購買、共同販売、機械器具等の共同購買、各種資金制度の活用指導や情報提供、研修会、労働災害防止活動、木材関連普及啓発活動等を計画している。

総会では、規約、平成 30 年度事業計画及び収支予算が原案通りに認められ、役員を選任では次のとおり承認された。会長 遠田勝一、副会長 佐藤久一、副会長 小関一也
監査 下山邦彦、顧問 阿部昭、事務局長 大隅尚行

3 県再造林推進機構臨時総会開催

3 月 28 日 (水) あこや会館べにばな会議室 (山形市あこや町) にて、当推進機構の臨時総会が開催された。報告事項として、山形県森林再生基金事業協力金 (㎡あたり 20 円) が税務上の処理として、全額損金算入できることとなった。これは、先進地岩手県同様に協力金の支出は協力協定書を締結した協力者が任意ではなく義務的に支出すると判断されたことによる。また、役員を選任があり、太田純功事務局長を常務理事に選任した。その他の議案も原案どおり承認され、4 月 1 日から施行される。

4 県原木流通協議会総会と林業経営セミナー開催

3 月 19 日に県創造支援センター会議室で、第 5 回山形県原木流通協議会が開催され、H29 年度事業報告と収支決算が報告され、承認された。本協議会は平成 28 年 4 月に設立し、協和木材(株)等に共同納材することを検討してきた。しかしながら、協和側は必ずしも共同納材を望んでおらず、納入側団体もメリット感を見いだせないまま推移してきた。

今年度で県の支援も無くなり、会の存続等を協議し、当面、県森林組合連合会に事務局を置き、経費を掛けないで、年間数回の情報交換会の開催とすることになった。

総会終了後、先進的な林業経営を目指し実践につなげる二人の著名講師による林業経営セミナー研修会を開催した。最初に赤堀楠雄 (あかほりくすお) 氏が「木材の価値を高める技術と林業経営」と題して、創意工夫により自ら木の価値を高め、先進的な林業経営につなげる技術と経営手法について語った。次に、梶山恵司 (かじやまひさし) 氏が「森の価値を高める地域熱供給網の構築」と題し、地域内エコシステムの導入による森林資源のバイオマス利用の拡大を高める手法について語り、出席者との意見交換に臨んだ。



5 県森林整備事業担当者会議開催

3 月 20 日 (火) 村山総合支庁 2 F 講堂にて、県森連・各森林組合、木産協・組合員、県内市町村森林整備担当、県担当約 100 名が参加し、森林整備事業に関連する「やまがた緑環境税事業」「森林施業支援事業」「林業成長産業化総合対策事業」「合板・製材・集成材国際競争力対策事業」「再造林関連事業」その他と盛りだくさんの事業説明があった。木産協だよりで関連事業や新規事業について、順次お知らせしていきます。

6 県山火事防止連絡協議会開催

3月16日（金）村山総合支庁402会議室にて、国有林・県市長会・町村会、森林関係団体等26名が出席し、県内で早くも発生している山火事対策について協議した。今年度は、全国統一標語「小さな火 大きな森を破壊する」をテーマに4月1日～5月31日まで、6つのスローガンで普及啓発活動を実施することを確認した。

- ①枯草などがある場所では、たき火をしない。
- ②たき火など火の使用中はその場を離れず、使用後は完全に消化する。
- ③強風時、乾燥時には、たき火、火入れをしない。
- ④火入れを行う前に、必ず市町村長の許可を受ける。
- ⑤たばこの吸殻は必ず消し、投げ捨てない。
- ⑥火遊びはしない。



7 県JAS連絡協議会研修会開催

3月22日（木）ホテルキャッスル会議室（山形市十日町）において、国の補正と当初予算のJAS無垢材利用促進事業の勉強会を会員・オブザーバー約10名の出席で開催した。

昨年度は、金山町森林組合が12月に、(株)沖田木材産業が3月にJAS工場認可を受けた。

今年度の全木連の木材利用拡大事業は、林野庁が強く求めている格付け率の低いJAS製材品の普及拡大が基盤となっている。全木連事務局長会議の中でも、公共施設建築の仕様書の中でJAS同等品という言葉は無くそうという提案でした。県内では、林業まつり等でJAS部材の躯体展示やテントブースを設けてJAS材の普及に力を入れていくことを確認した。具体的には5月中旬に開催する定例総会にて普及方法等検討することになる。

また、今回は研修会の後、県庁林業振興課坂本幸男森林ノミクス推進専門員による森林認証制度について、本県の取組み等を紹介いただきました。

8 林野庁プレスリリース（3月29日発表）

「平成28年度の公共建築物の木造率について」が発表になりました。その中で、全国の公共建築物の木造率は11.7%となり、都道府県別では、公共建築物全体では秋田県が1位（36.8%）で、低層公共建築物では、山形県が1位（57.2%）となりました。やまがた森林ノミクス効果が表れてキター！って感じです。林野庁ホームページに詳細が掲載されています。

9 県プレカット協会役員会開催

3月22日山形市内会議室にて、第3回役員会を開催した。オリンピック・パラリンピック施設（国立競技場や選手村、ビレッジプラザ等）の進捗状況等の報告や材の調達方法等について確認した。県の昨年度の木造・木質化事業の報告やH30年度の事業計画等現状で把握できた情報について意見交換した。H30年度定期総会は5月14日（月）開催とした。

10 H29年度補正・H30年度全木連事業の概要

3月29日(木)～30日(金)と全木連支部長会議・事務局長会議等が東京新木場の木材会館7階ホール等で開催された。理事長と専務がそれぞれの会議に出席した。

全木連事業のJAS無垢材利用拡大事業は、いわゆるポイント制度の様に、工務店・ゼネコン・設計士等が対象となる補助事業で、JAS機械等級区分構造材(土台、柱、梁、桁)を利用した非住宅物件に、㎡あたり2千円(上限百万円:500㎡)を支援するもの。本県のように機械等級区分JAS工場がない県においては他県産材や外材利用も認められている。

この機会に機械等級区分JAS工場を認可申請してほしいと林野庁は望んでいる。本事業は平成31年度も継続して予算要求を実施していくとの方針だ。

11 4月の行事予定

4月5日	県庁内 挨拶回り(木産協三役)	理事長 他3
4月24日	平成30年度山形県木材産業協同組合第1回理事会	理事長・理事等
4月25日	山形県森林協会理事会	
4月26日	木産協グリーンクラブ総会	専務

12 日本百名山シリーズ紹介(百名山踏破の節約術)

山形県から百名山踏破のためには、体力と時間とお金が必要で、今回は節約術を紹介する。

- ・格安航空券(スカイマーク、ソラシドエア、ピーチ、FDA等)やJAL早割航空券
- ・都市間バス、夜行バス(仙台・山形～富山、山形～東京、山形～大阪)
- ・JR「大人の休日倶楽部パス」4～5日間乗り放題(東日本15000円・北海道)
- ・フェリー利用(秋田～苫小牧東、仙台～苫小牧、仙台～名古屋)早割半額
- ・夜間移動(高速夜間割引)+車中泊(体力勝負)松本市まで約400km

【北アルプス】往復約16000円で富山駅、さらに往復3600円で新穂高温泉、さらに往復2000円で上高地BT、また、富山駅から往復6000円で室堂平、往復7000円で折立へ。新穂高温泉からは、笠ヶ岳、槍ヶ岳、鷲羽岳、黒部五郎岳、水晶岳、上高地からは穂高岳、焼岳、乗鞍岳、室堂平からは、立山、剣岳、折立からは薬師岳など北アルプス南部主要11座が楽しめ、憧れの雲ノ平の散歩や秘湯高天原温泉も脚力しだい可能です。

【富士山】格安ツアーは夜行バスで山形～新宿バスタ～富士五合目往復約15000円です。午前10時には登山開始できますので、その日のうちに八合目に宿泊、翌日早朝に山頂を目指す。そしてご来光を見ながら日本最高峰剣が峰3776mに立つ。

【九州・四国】山形から夜行バスで東京へ、羽田から早朝の格安航空機利用、現地でレンタカーを借りて九座はOK(屋久島は鹿児島空港から飛行機、又は鹿児島港から高速船)

【中央・南アルプス】JR「大人の休日倶楽部パス」と駅レンタカー、

【北海道】フェリーと自家用車・バイク、格安航空券(仙台空港)とレンタカー(長距離)

【東北・北陸・関東】自家用車・バイク等で踏破する。



13 全木協連生命共済（中型グループ共済）のお知らせ

詳細は、全木協連HP→共済制度→中型グループでご確認ください。

割安な掛金で大きな保障。
木材業者の相互扶助が目的で、営利を目的にしていませんので、割安です。

従業員の福利厚生にも適しています。
(経営者も入れます)

全木協連が運営する安全・安心の制度です。

木材業に携わるみなさまのために設計された保険です。

現在加入の他の制度とも比べてご検討下さい。

加入
14歳7ヶ月～70歳6ヶ月の方まで加入できます。(一年更新)

保障
病気死亡、災害死亡、不慮の事故による入院など、幅広く保障します。

掛金
保障額に応じた5コース(110～1000万円)別に、年齢(5歳刻み)、性別による掛金

例えば、60歳までの男性の場合、110万円コースの掛金は月額1,000円以下(年齢により387円～970円)

加入手続は簡単

本制度は、全国木材協同組合連合会が生命保険会社と締結した災害保険特約付団体定期保険に基づき運営されます。

委託会社：大同生命保険株式会社、明治安田生命保険相互会社

全国木材協同組合連合会

東京都千代田区永田町2-4-3
TEL 03-3580-3215

14 県からのお知らせ

○森林病虫害等のまん延を防止するための命令 (移動禁止)

(承認番号第 347 号)

公 告

森林病虫害等防除法(昭和25年法律第53号)第5条第1項の規定により、次のとおり森林病虫害等の付着している伐採木等の移動を禁止する。

この処分について不服がある場合には、この処分があったことを知った日の翌日から起算して3箇月以内に、山形県知事に対して審査請求をすることができる。

この処分の取消しの訴えは、この処分があったことを知った日の翌日から起算して6箇月以内に、山形県を被告として(訴訟において山形県を代表する者は、山形県知事となる。)提起することができる。なお、審査請求をした場合には、この処分の取消しの訴えは、その審査請求に対する裁決があったことを知った日の翌日から起算して6箇月以内に提起することができる。

ただし、上記の期間が経過する前に、この処分があった日(審査請求をした場合には、その審査請求に対する裁決があった日)の翌日から起算して1年を経過したときは、審査請求をすること及びこの処分の取消しの訴えを提起することができない。

平成29年3月30日

山形県知事 吉村 美栄子



1 区域及び期間

(1) 区 域 山形県下一円

(2) 期 間 平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

2 森林病虫害等の種類

(1) 松くい虫

(2) 樹木に付着してその生育を害するせん孔虫類

3 行うべき措置の内容

2の森林病虫害等(以下「松くい虫等」という。)が付着している伐採木等(松くい虫等の駆除を行ったものを除く。)の移動(森林病虫害等防除法第2条第6項に規定する特別伐倒駆除を行うための移動を除く。)を禁止する。

4 理由

1の区域の森林において松くい虫等の被害が発生しており、3の措置を行わなければ松くい虫等が異常にまん延して当該区域及びその周辺区域の森林に重大な損害を与えるおそれがあるため

資料

松くい虫被害材の移動禁止命令について

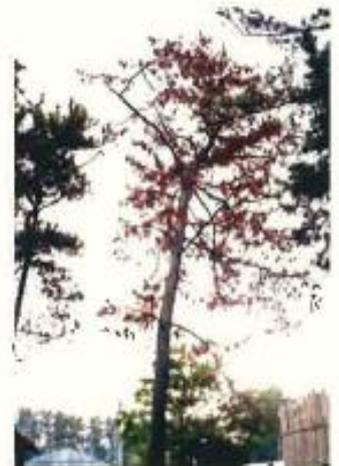
山形県農林水産部林業振興課

◆なぜ被害材を移動禁止しなければならないの？

「松枯れ」は、「マツノザイセンチュウ」が松の中に入り込むことによって、松が赤く枯れてしまう病気です。このマツノザイセンチュウを他の木に運んでいるのは「マツノマダラカミキリ」です。

マツノマダラカミキリは枯れた松に産卵し、翌年の6月下旬まで幼虫の状態で樹の中で生活します。その後、成虫となり、マツノザイセンチュウとともに外の木に移動します。

マツノマダラカミキリの幼虫が中にいるまま松材を移動させた場合、広範囲に松枯れの被害を引き起こすことから、駆除されていない材の移動を禁止するものです。



マツノザイセンチュウ
により枯れた松



マツノマダラカミキリ (成虫)



マツノマダラカミキリ (幼虫と蛹)

樹皮下の卵 材内の成虫幼虫 蛹室内の蛹



マツノザイセンチュウ

◆松くい被害材の駆除の方法は？

- ・伐倒し、破碎もしくは焼却もしくは炭にする
- ・伐倒し、材に殺虫剤（カーバム剤（商品名NCS））をかけてシートで覆い、くん蒸する。



木材チップパーによる破碎



シートくん蒸による駆除

◆特別伐倒駆除とは？

松くい虫等が付着している樹木の伐倒及び破碎（農林水産省令で定める基準に従い行うものに限る）又は樹木の伐倒及び焼却（炭化を含む）する事です。（森林病虫害等防除法第2条第6項）

※農林水産省令に定める破碎の基準

破碎後の木片の厚さが6mm以下（木材チップパーにより破碎する場合にあっては15mm以下）
（森林病虫害等防除法施行規則第1条）

15 2月期の住宅着工状況

平成30年2月期の県内新設住宅着工戸数は379戸となり、対前月比105.9%、対前年同月比134.4%、前年累計比は140.4%となった。地域別では山形市・寒河江市・鶴岡市・酒田市が大きく伸びている。今月は、利用関係別等で貸家が伸び、木造率が低下している。

1 県内新設住宅着工戸数(平成30年2月)

(単位:戸)

年月	総数	利用関係別				資金別		木造住宅		木造内訳		
		持家	貸家	給与住宅	分譲住宅	民間	その他	戸数	木造率	在来軸組	プレハブ	2×4
23年	4,336	3,001	1,100	8	227	3,903	333	3,615	83.4%	2,778	121	716
24年	4,716	3,086	1,273	61	296	4,468	248	3,917	83.1%	2,940	156	821
25年	5,323	3,543	1,372	21	387	5,136	187	4,515	84.8%	3,453	152	910
26年	4,550	2,529	1,505	83	437	4,335	215	3,797	83.4%	2,752	106	939
27年	5,403	3,076	1,721	15	591	5,338	65	4,575	84.7%	3,138	130	1,307
28年	5,675	3,046	1,930	16	683	5,592	83	4,875	85.9%	3,370	109	1,396
29年	5,516	2,976	1,837	50	653	5,473	43	4,661	84.5%	3,366	98	1,197
29.1月	243	144	69	1	29	243	0	207	85.2%	164	4	39
2月	282	164	74	1	43	279	3	257	91.1%	153	8	96
3月	310	193	61	13	43	308	2	275	88.7%	210	8	57
4月	566	277	169	0	120	564	2	471	83.2%	331	13	127
5月	348	249	36	25	38	345	3	321	92.2%	267	1	53
6月	647	320	266	0	61	637	10	520	80.4%	325	8	187
7月	528	322	152	3	51	527	1	489	92.6%	371	12	106
8月	561	284	225	1	51	548	13	483	86.1%	358	13	112
9月	581	299	216	1	65	579	2	465	80.0%	330	6	129
10月	537	236	246	2	53	535	2	394	73.4%	279	8	107
11月	456	261	151	2	42	453	3	387	84.9%	310	9	68
12月	457	227	172	1	57	455	2	392	85.8%	268	8	116
30.1月	358	139	170	2	47	356	2	316	88.3%	183	4	129
2月	379	160	163	1	55	378	1	300	79.2%	205	5	90
対前月比	105.9%	115.1%	95.9%	50.0%	117.0%	106.2%	50.0%	94.9%	-	112.0%	125.0%	69.8%
対前年同月比	134.4%	97.6%	220.3%	100.0%	127.9%	135.5%	33.3%	116.7%	-	134.0%	62.5%	93.8%
29.1~当月計	525	308	143	2	72	522	3	464	88.4%	317	12	135
30.1~当月計	737	299	333	3	102	734	3	616	83.6%	388	9	219
対累計前年比	140.4%	97.1%	232.9%	150.0%	141.7%	140.6%	100.0%	132.8%	-	122.4%	75.0%	162.2%

2 地域別新設住宅着工戸数(平成30年2月)

(単位:戸)

市町村	着工数	累計	前年比	累計比	木造累計
県計	379	737	134.4%	140.4%	616
山形市	148	253	149.5%	132.5%	180
上山市	9	14	52.9%	73.7%	12
天童市	30	62	103.4%	108.8%	56
山辺町	4	5	100.0%	100.0%	5
中山町	0	2	0.0%	66.7%	2
東南村山	191	336	127.3%	122.2%	255
寒河江市	16	41	266.7%	372.7%	40
河北町	4	6	133.3%	100.0%	6
西川町	0	0	-	-	0
朝日町	0	0	-	-	0
大江町	0	0	-	-	0
西村山郡	20	47	222.2%	276.5%	46
村山市	0	2	0.0%	50.0%	1
東根市	19	30	52.8%	73.2%	29
尾花沢市	1	7	-	-	7
大石田町	0	1	-	-	1
北村山	20	40	52.6%	88.9%	38
村山地域	231	423	117.3%	125.5%	339
新庄市	10	11	-	550.0%	11
金山町	0	0	-	-	0
最上町	0	0	-	-	0
舟形町	0	0	-	-	0
真室川町	0	0	-	-	0

市町村	着工数	累計	前年比	累計比	木造累計
大蔵村	0	0	-	-	0
鮭川村	0	0	-	-	0
戸沢村	0	2	-	-	2
最上地域	10	13	-	650.0%	13
米沢市	24	33	200.0%	82.5%	31
南陽市	2	9	28.6%	69.2%	9
高島町	3	5	100.0%	125.0%	5
川西町	0	1	0.0%	100.0%	1
東南置賜	29	48	126.1%	82.8%	46
長井市	2	26	100.0%	173.3%	25
小国町	0	0	-	0.0%	0
白鷹町	0	0	0.0%	0.0%	0
飯豊町	0	0	-	0.0%	0
西置賜	2	26	40.0%	123.8%	25
置賜地域	31	74	110.7%	93.7%	71
鶴岡市	54	97	200.0%	167.2%	94
三川町	3	3	300.0%	300.0%	1
庄内町	16	17	200.0%	154.5%	16
田川	73	117	202.8%	167.1%	111
酒田市	34	109	161.9%	294.6%	81
遊佐町	0	1	-	-	1
飽海	34	110	161.9%	297.3%	82
庄内地域	107	227	187.7%	212.1%	193

注:累計は平成30年1月

